

中根 千枝賞 創設記念 シンポジウム

2022年11月15日(火) 14:50-17:30

津田塾大学小平キャンパス H310 教室

対面は在学生のみ。オンラインで一般公開

津田塾大学学芸学部 多文化・国際協力学科では、優れた卒業論文を完成させた学生をたたえる「中根千枝賞」を創設しました。今年度、学科設立4年目を迎え、初の中根千枝賞受賞者を輩出するにあたり、本学出身で、日本における女性フィールドワーカーのバイオニアであった中根千枝氏をめぐるシンポジウムを開催します。

中根 千枝
(なかね ちえ)



社会人類学者。1926年東京生まれ。津田塾専門学校（現津田塾大学）を卒業後、東京大学文学部東洋史学科、同大学院を卒業。1953年からインドに留学し、北東部の山岳地帯でフィールドワークを実施。

女性で初めて東京大学教授に就任し、学術系としては女性初となる文化勲章を受章するなど、女性研究者のバイオニアとして活躍した。2021年、94歳で死去。

清水 展 (しみず ひろむ)

関西大学政策創造学部特任教授。1974年東京大学大学院社会学研究科文化人類学課程入学。中根千枝先生を指導教員とする。1980年東京大学東洋文化研究所助手になり、中根先生の同僚として指導と薫陶を受ける。以後、九州大学教養部助教授、同大学院比較社会文化研究院教授、京都大学東南アジア研究所教授を経て、現職に至る。第11回日本文化人類学会賞および第107回日本学士院賞受賞。

第1部

14:50-15:00 あいさつ 高橋 裕子 (津田塾大学学長)

15:00-15:40 講演 清水 展 (関西大学政策創造学部特任教授)

「中根先生の人間的な暖かさと知的な冷静さ

—男性優位の日本で中心と周縁を軽やかに行き来するフットワーク—

15:40-15:55 コメント 小島 敬裕 (津田塾大学副学長)

15:55-16:10 質疑応答

第2部

16:20-17:30 「フィールドワークと私 —中根千枝氏をめぐる—」

木村 真希子・三澤 健宏・三砂 ちづる・松山 章子・木村 朗子・丸山 淳子・川端 浩平・八塚 春名

(津田塾大学 多文化・国際協力学科)

第1部はオンラインで一般公開します。



⇐QRコードから事前申込。*申込締切：11月13日

第2部は後日、多文化・国際協力学科 学科発信メディア
(<https://mi.tsuda.ac.jp/>) において配信します。

お問合せ：津田塾大学学芸学部事務局 (多文化・国際協力学科)

Eメール：tabunka-jimu@tsuda.ac.jp、TEL: 042-342-5001

